

魅力ある 多様な「しごと」について語る

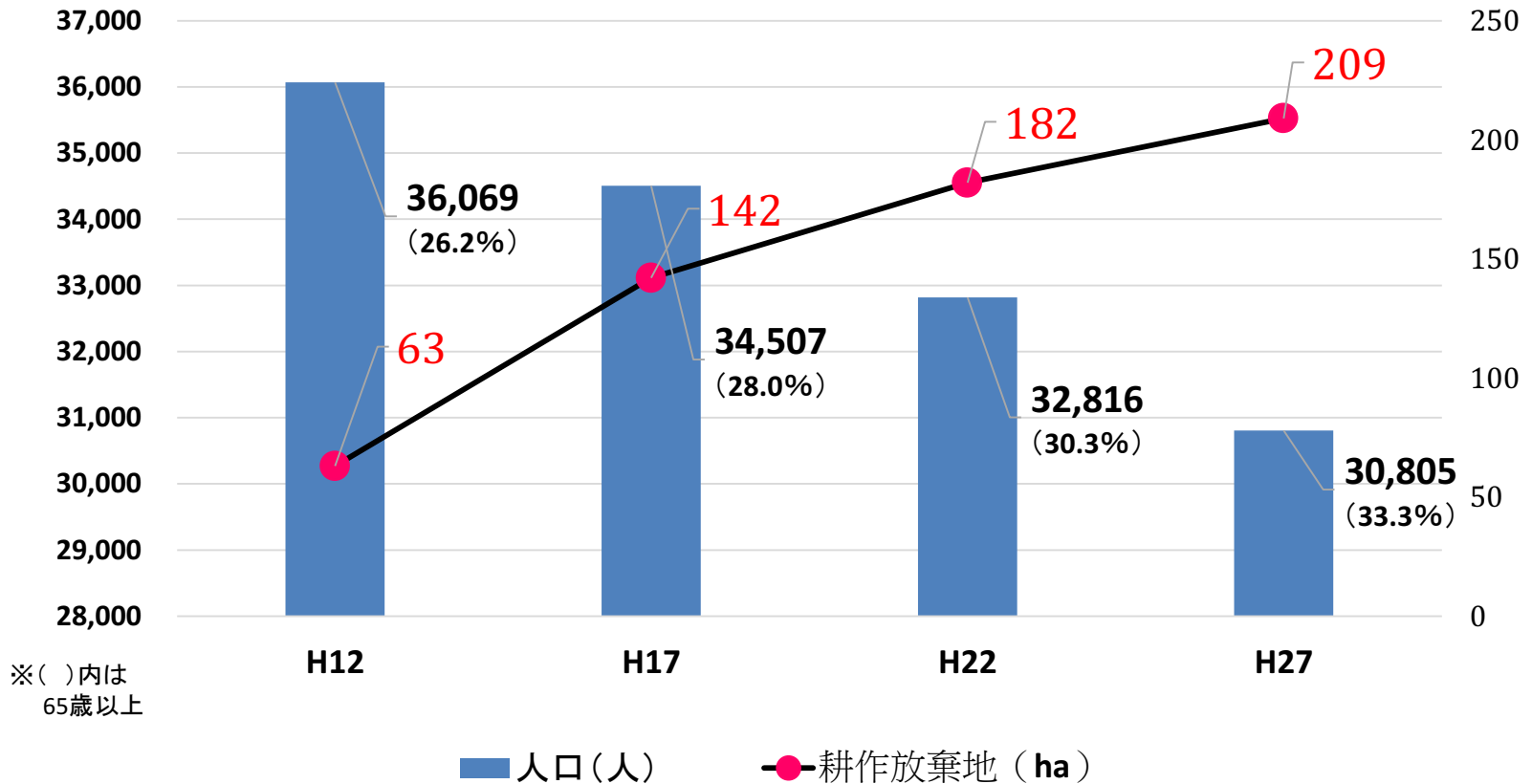
朝来市における農林業の振興

朝来市産業振興部農林振興課

朝来市の「農業」の現状と課題

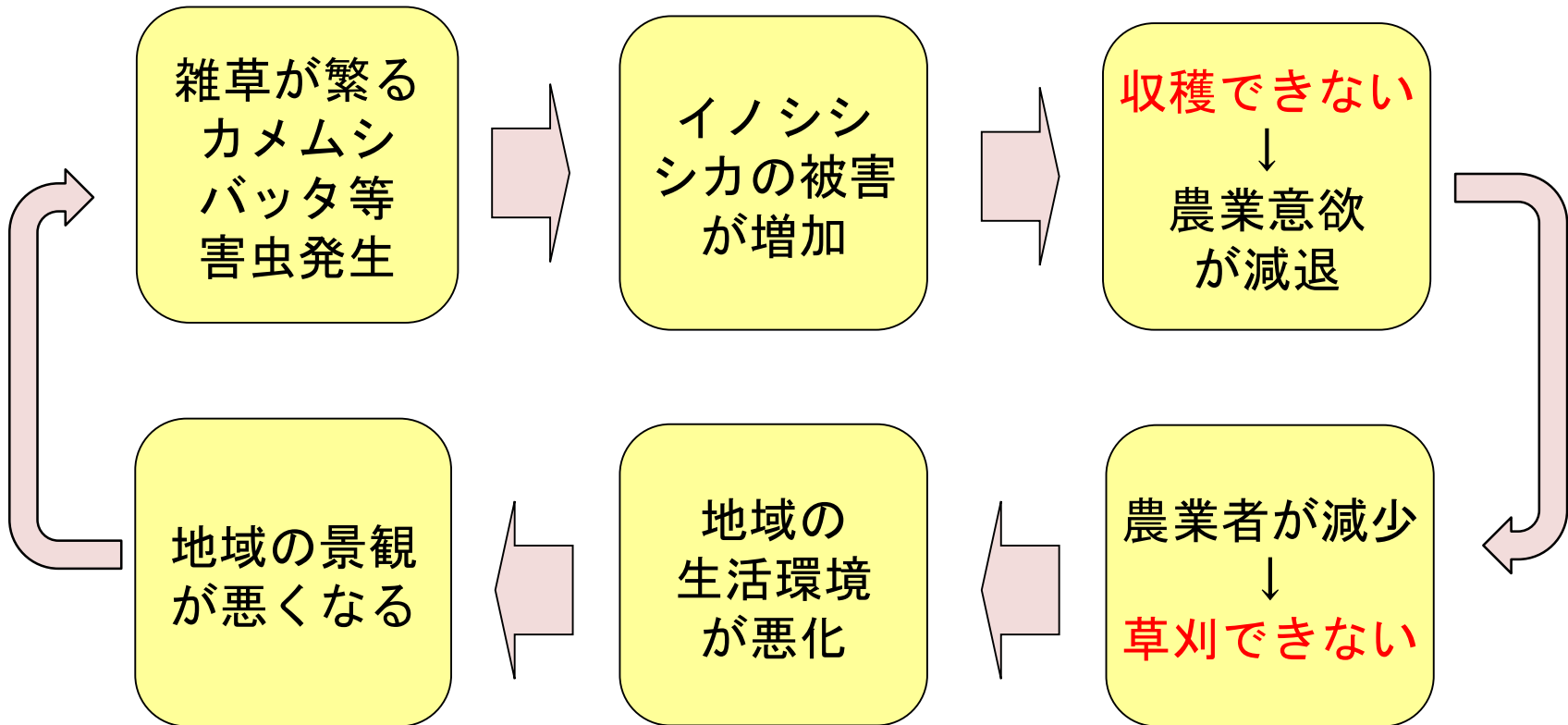


耕作放棄地と人口動向（高齢化率）



15年間で耕作放棄地は3倍以上増加

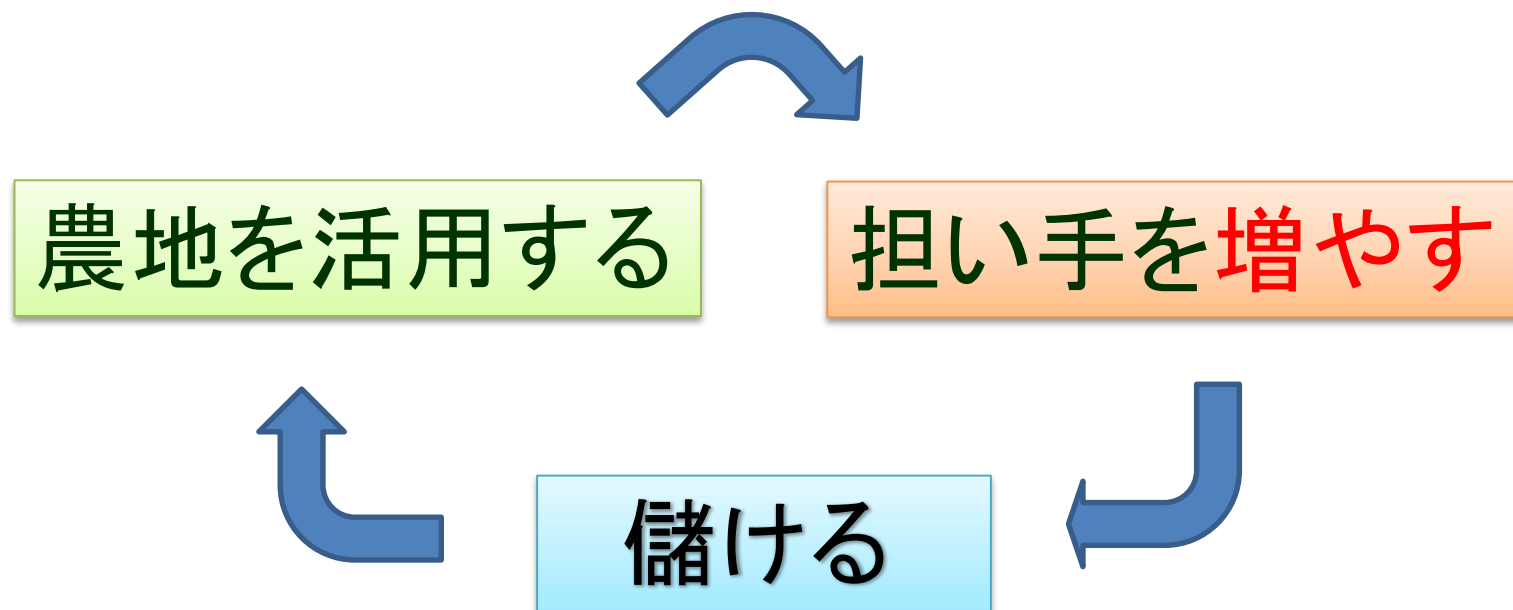
耕作放棄地が増えると地域はどうなる？



負の連鎖で地域で暮らしにくくなる

持続可能な産業

「儲ける農業」



プランの基本方針

- 1 耕作放棄地対策に向けた検討
- 2 担い手の確保と育成
- 3 新しいアイテムの検討
- 4 成長戦略
- 5 地域としての取組

2 担い手の確保と育成

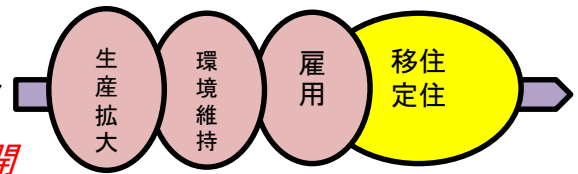
認定農業者、法人、集落営農等



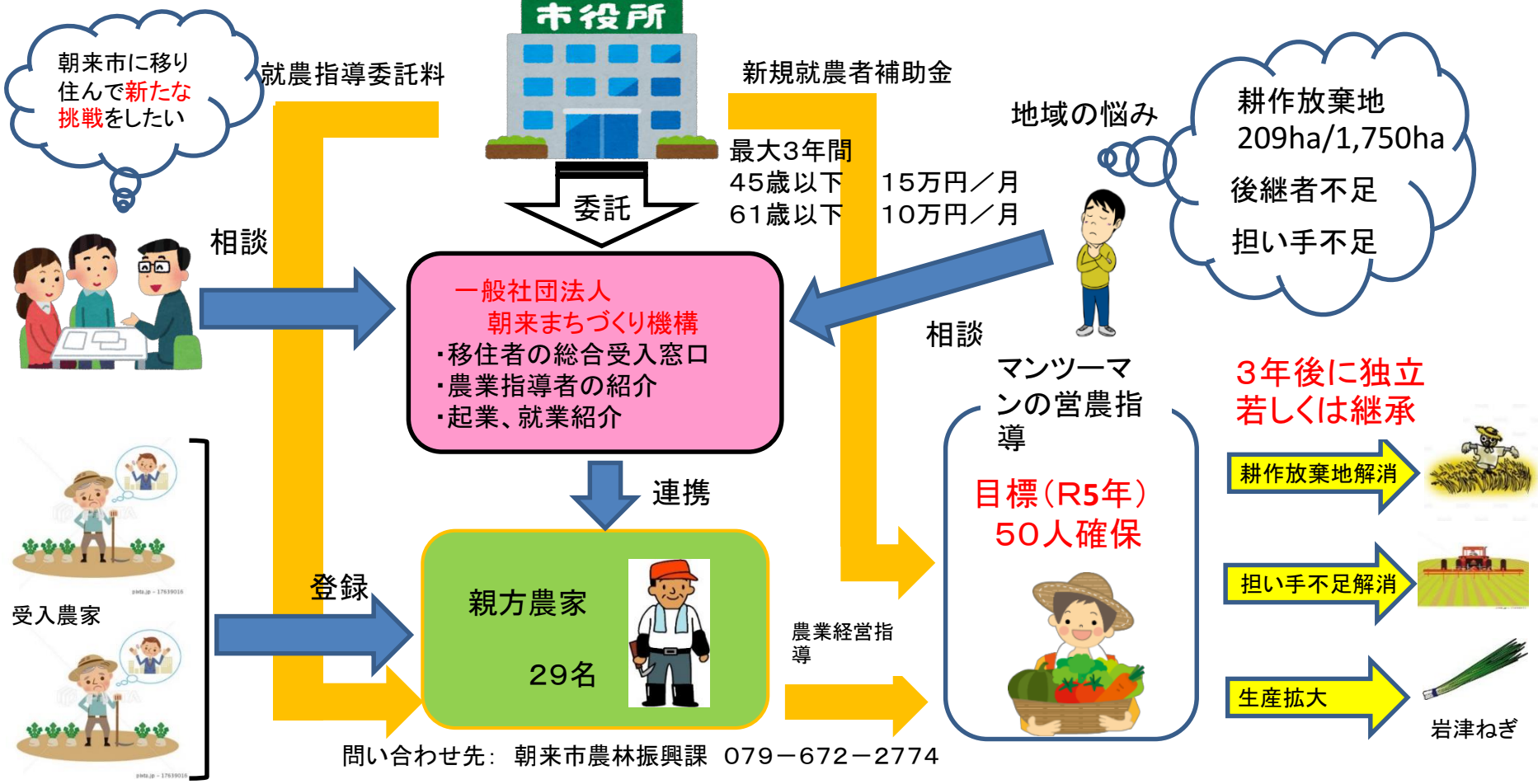
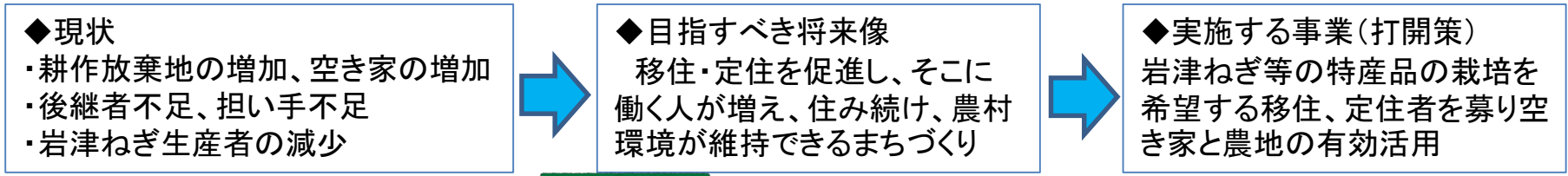
新規就農者の確保・育成



朝来市住みたい田舎移住定住促進プロジェクト



横串の施策展開



移住・定住就農者数

[令和元年度現在]

平成28年12月以前の就農者数 18人

平成29年 1月以降の研修生数 17人

35人



農業を**職業**として
生計を立てていく人

[令和5年度目標]

50人

新規就農者や農業法人が増え、生産量が増えても...

新たな問題

出荷作業に手が回らない(出荷ができない)

農業に少しでも関わる人が欲しい！

女性や若者等の
多様な関わり方

例: ワークシェア

子育て中の女性が
短時間で出荷作業
を担う

関わってくれる人が増えたら

- ・全量出荷による農家の収入増
- ・新たな就労機会の確保
- ・地域の新たな人材を発掘

朝来市の「林業」の現状と課題



「Hiroki Tominaga – Atelier」HPより

森林の歴史①



大阪府HPより

昭和30年ごろまでは、住民の生活を支える薪や炭などの燃料や住宅用に木材が多く利用され、過剰に伐採された結果、荒廃した山が多く見られました。

森林の歴史②



長野県HPより

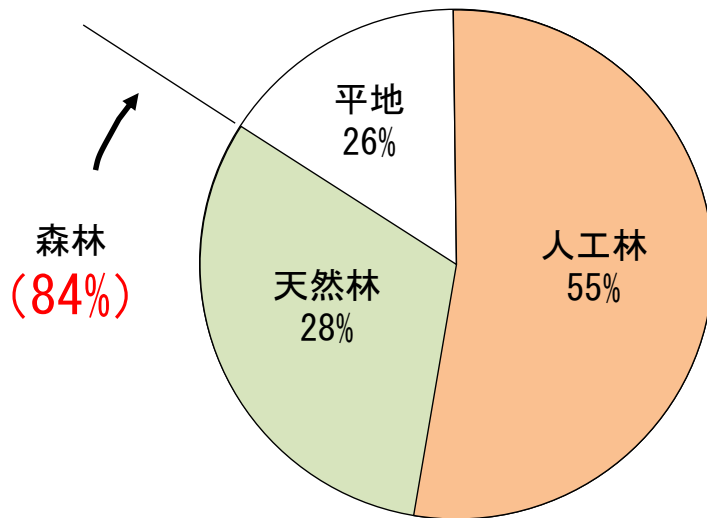
その後、昭和40年代半ばまで、伐採した跡地の植林が全国的に行われました。

朝来市の森林の状況

朝来市の総面積
403km²

総面積 403km²

森林面積 338km²(84%)



※総面積の内

人工林面積 223km²(55%)

天然林面積 115km²(28%)

人工林の現状



手入れがされているスギ林

人工林 223km²
(市全体面積の55%)

その内、手入れがされて
いない森林が、

150km²

(人工林面積の
約70%)

手入れがされていない人工林の特徴



日光が届かず、土がやせているスギ林

1. 山の地表に日光が届かない。
2. そのため、木の根が張らなり、土がやせていく。
3. 大雨や台風時には木の根が水を吸いきれない。
4. 結果、土砂災害が発生しやすくなる。

課題解決に向けた方策例



「かとう家の小ばなし」HPより

★自伐型林家の育成★
1人につき、30～50ha
の森林面積があれば、
生計が立てられると言
われています。

市内でも、個人グループ
や地区が中心となり、
自分たちで山の手入れ
をしています。

※自伐型林家とは、森林所有者や地域住民が
自ら長期的に山の手入れを行い、取り組む者。

農業

耕作放棄地の増加

林業

手入れ不足の人工林の増加

仕事を生む資源

集落営農

森林組合

法人

新規就農者

自伐型林家

認定農業者

女性

若者

林業事業者

地域の支援

地域の支援

多様な担い手の確保と育成

農村環境を守り 住み続けられる地域づくり

みなさんに考えていただきたいこと

- ・多様な担い手の確保のために何をすべきか。
- ①新規就農者、自伐型林家など農林業を主業とする人の確保と育成
- ②女性や若者を含む副業的な関わり方の創出





ご清聴ありがとうございました。